

議会広報編集委員会行政調査報告書

平成29年10月19日（木）～20日（金）まで、議会広報編集委員会の行政視察のため、岩手県北上市及び久慈市に出張しましたが、その内容について下記のとおり報告いたします。

平成29年10月30日

喜多方市議会
議長 佐藤 一栄 様

議会広報編集委員会
委員長 上野 利一郎

記

1 日時及び場所

- | | | | | |
|-----|----------------|--------|--------|--------------|
| (1) | 平成29年10月19日（木） | 9:30 | ～11:00 | 岩手県北上市 |
| (2) | 〃 | 20日（火） | 9:30 | ～11:20 〃 久慈市 |

2 行政視察出席者

上野 利一郎	委員長	小島 雄一	副委員長
遠藤 吉正	委員	後藤 誠司	委員
渡部 勇一	委員	佐藤 忠孝	委員
		随行（書記）	富田 亜紀子

3 行政視察内容

- (1) 岩手県北上市
広聴広報特別委員会の取り組みについて
- (2) 岩手県久慈市
広報広聴会議の取り組みについて

以上、報告いたします。

【岩手県北上市】

1 視察日時及び場所

- (1) 日時 平成 29 年 10 月 19 日 (木) 午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分
- (2) 場所 北上市役所

2 視察項目

広聴広報特別委員会の取り組みについて

3 対応者

北上市議会議員 広聴広報委員会 委員長 三宅 靖 氏
北上市議会事務局 事務局長 菊地 和俊 氏
〃 議事課長補佐兼総務係長 小原 昌江 氏
〃 〃 総務係 主任 鈴木 将司 氏

4 視察内容（要点筆記）

広聴広報特別委員会の取り組みについて

合併～平成 22 年度までは「議会広報編集委員会」として議会だよりの編集のみの活動。平成 23 年度～27 年度は「広報広聴特別委員会」として会津若松市を参考としてはじめたが、「聴く」ことがまず初めであろうとの考えから「広聴広報特別委員会」とした。平成 28 年度から常設の「広聴広報委員会」とした。

15 名（正副議長、監査委員、議会運営委員を除く全議員）で構成し、常任委員会の副委員長は必ず広報部会となる。

広聴部会（7 名）・・・市民と議会をつなぐ会の開催とまとめ
議会モニター制度

広報部会（7 名）・・・議会だよりの編集・発行（年 4 回）、
議会ホームページとインターネット中継の検討

(1) 議会広報の紙面づくりについて

表紙は平成 5 年にフルカラーにし、平成 26 年 4 月発行から表紙写真を公募とした。条例なども審査が分かれたもの以外は件数のみとし条例名も掲載しない。賛成討論、反対討論を文字数同じにして掲載をしている。

一般質問については、顔写真については議場で質問しているところを採用し、市民の方からも臨場感があがったとの意見を頂いている。議会モニターからの意見を参考に、改選後の議員の紹介なども人柄が分かるようなひとこと（つぶやき）を掲載している。レイアウトについては、記事の分量や予算の関係など、定着するまで何度も変更をしている。

(2) 議会モニター制度について

議会改革の流れから、先進地視察を実施。議会運営に関わる意見が欲しいが、議員個人へのクレームや市政への要望などがあるなどの課題があったため、定員 20 名（議員の声掛けのみで参集）で、9 月議会と議会だよりの発行までの 3 ヶ月の任期で謝礼等一切なしで試行した。議会だより発行後にワークショップ形式でモニター会議を開催（資料 2）し、さらに県内の先進地視察を経て最終的な制度設計を行った。今年度より 5 月（6 月議会）～5 月（4 月発行の議会だより発行、その後のモニター会議まで）の任期で、費用弁償のみとし、18 名で本格実施している。

制度施行後、本会議の傍聴者が若干増加したと感じている。意見は随時寄せていただいているが、議会運営に関わることが多く、広聴部会より、議会運営委員会で所管した方が良いのではとの意見も出ている。モニター会議の手法をどうするか、課題など見えてきた。はじめたばかりではあるが、10～20 年と長くやるものではないと感じている。

(3) ホームページのリニューアルについて

市議会のホームページの独自性がない。独自ドメインを取得して大幅なリニューアルを図りたい。

5 質疑

遠藤吉正委員	全体的にページ数が少ないと感じるが、その理由は。また、ページを増やす議論はあったか。
三宅委員長	理由としては年間の予算の中でページ数を調整している。増やす議論はあったが、あまり厚くても読まれないのでは？ということで、伝いたい内容だけにして薄くした。
遠藤吉正委員	行政視察などは掲載するのか。請願・陳情のお知らせは。
三宅委員長	特に議論が分かれたもの・議論していることは掲載する。掲載内容も委員会で決めている。請願・陳情はタイトルだけでは伝わらないので基本的には掲載しないが、議論が分かれたり、市民に知らせた方がいい内容である時は掲載する。市民が知りたい内容を選んでいる。 請願・陳情のお知らせは、毎回掲載するわけではない。スペースの関係で決めている。
小島雄一副委員長	各常任委員会などから、掲載内容についてのクレームなどはないか。喜多方市は一般質問が 20 人以上になることがあり紙面構成に苦慮しているが、そのあたりはどうか。表紙の写真が一般応募とのことだが、応募は多いのか。
三宅委員長	常任委員会副委員長が委員会に入っているが、発行してからクレームがくることはある。一般質問のページは、質問議員の宣伝になってしまうという考えが以前よりあり、紙面では一般質問よりは議会全体の活動に注力している。表紙の写真の応募、最初は多くあったが、最近は僅か。

後藤誠司委員 三宅委員長	発行までに委員会は何回開催するのか。 本会議前に1回目を開催し、ページ割と記事担当者を決める。 本会議終了後に2回目を、原稿入力、文字校正を中心に3~4時間で行う。 その後、事務局でも校正し、3回目に正副委員長、事務局も含めて校正をかける。発行までは3回の委員会開催である。 その後、事務局長も校正に加わり校了となる。
渡部勇一委員 三宅委員長	公募写真、人物の場合の掲載の承諾をどのように得ているのか。 撮影者に承諾を得て頂くように周知している。採用が決定してから撮影者にコメントを書いてもらっている。
佐藤忠孝委員 三宅委員長	委員会での採択の結果も掲載ないが、理由あるのか。 これまで議論にもならず考えてもいなかった。掲載あってもいいと思う。
小島雄一副委員長 三宅委員長	議会モニター制度について、公募はどのように行ったか。モニターの本会議の傍聴は難しいと思われるが、モニターの方の職業は。 募集は市議会だよりとホームページのみで行った。試行の時は議員の声掛けのみだった。モニターの中にはサラリーマンもおり本会議の傍聴は難しいこともあるが、モニターへは6つのお願いのうち、1つ以上やってもらうようにしており、傍聴が必須ではない。
後藤誠司委員 三宅委員長	議会モニターとつなぐ会（意見交換会）は広聴部門の体制で大丈夫か。 以前は8人体制で広報と広聴をやっていた。年間で30回程度の会議であったが、広報部門と広聴部門を分け、安定している。ただし、委員長だけは両部門に出席するため負担は大きい。
遠藤吉正委員 三宅委員長	つなぐ会について、市民の意見はどのような流れで活かされるのか。 市民の意見を広聴部門で各所管に振り分け→議長報告→議長から各常任委員会に伝達→各常任委員会で回答まとめ→結果を議長へ報告→公表。 地区別のつなぐ会は全議員を4班に分けて実施、テーマ別のつなぐ会は応募形式で団体等の所管する常任委員会で実施している。
渡部勇一議員 三宅委員長	議会モニター制度の効果は。 傍聴者名簿を1人1枚にして箱に入れる方法に変更、議会だよりの紙面を見やすく変更など、意見を参考に改善していることが効果の表れと考える。モニターの意見を受け、ホームページのリニューアルにも今後取り組んでいく。

※午後11時終了、議場見学。

【岩手県久慈市】

1. 視察日時及び場所

- (1) 日時 平成 29 年 10 月 20 日（金） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 20 分
- (2) 場所 久慈市役所

2. 視察項目

広聴広報特別委員会の取り組みについて

3. 応対者

北上市議会議員	広報広聴会議	座長	小野寺 勝也 氏
〃	〃	副座長	上山 明彦 氏
〃	議会運営委員会	委員長	佐々木 栄幸 氏
北上市議会事務局	事務局長	澤口 道夫 氏	
〃	庶務係長	水上 恵一 氏	
〃	主査	長内 紳吾 氏	

4 視察内容（要点筆記）

- (1) 広報広聴会議の取り組みについて
- (2) 議会広報の紙面づくりについて
- (3) SNS を活用した議会活動の発信について

（※上記をまとめて、上山明彦副座長が説明。）

平成 27 年 8 月から、年間を通して活動しやすく「広聴広報会議」とした。議会広報誌の発行、議会宝庫億階の企画・運営、市民との意見交換の場の企画・運営を行っている。

議会広報は、東京都あきる野市議会議員を講師に招致し研修会を行ったことをきっかけに、コンセプトをはっきりさせ（編集方針の決定）、先進地の良いところは真似て紙面構成を検討した。リニューアルまでの期間は 3 ヶ月程度。

議員が主体となって取材・記事執筆している。

○ポイント○

- ・表紙の写真は 2～3 ページの特集記事と連動させる。
- ・定例会の審議内容は、情報を詰め込んでも読んでももらえないと意味がないため、吟味する（「自分に関係するものしか読まない」との市民の声あり）。
- ・一般質問には、必ず写真を 1 枚入れる。文字だけでは読み飛ばされる。写真があると読者の理解度がアップする。
- ・子どもが載っている紙面は目を引く。
- ・その他の記事として、議員の出欠状況を掲載。
- ・編集後記はなるべく短く。

今後は、折込みでアンケートを実施する予定。また、先進地事例にあるような追跡記事などの新企画を検討している。

(4) かだって会議について

(5) タブレット端末の導入経過について

(※上記を事務局 長内主査より説明。)

議会報告会を開催しても参加者が集まらない事や、参集者の偏り、特定の声の大きい、意見のある人だけが発言している現状、市勢への要望（議員が行政の御用聞きになっている状況）、会場の雰囲気悪さなどから、市民と議会が協働で市政課題について話し合う「かだって会議」を設置した。

当初、参加する市民メンバーは無作為抽出で募集し、年齢の偏りが無いように、不足の部分は議員が声掛けで補い、市の人口縮図を作って取り組んだ。

話し合いの中で、議員自らの気づき（話し合いの態度など）や市民自らの気づき（地元就職を希望するなど）があった。

タブレットについては、議会運営委員会の申し合せにより議場へのタブレット持ち込みを許可し、議会全室での Wi-Fi 環境を整備した。政務活動費にてタブレット端末購入経費と通信費 1/2 を支弁。無料スケジュールアプリ「Cybouzlive」（サイボウズ社）によって議員・事務局のスケジュール共有をしている。

5 質疑

遠藤吉正委員	リニューアルを短期間で行っているが、議員の負担など役割分担でクレームなどはなかったのか。
小野寺座長	10 人構成の委員は大体順番に役割があるので、大きな不公平感はない。政策課題に結び付けていく議論の中で、広報広聴会議の充実が必要であったため、早期にリニューアルが必要であった。
遠藤吉正委員	予算について教えて欲しい。とじ込みは高いのでは。
水上係長	3.1 円/部、1.89/ページ（表（裏）カラー、中 2 色刷り） 元々の納品がとじ込みであり、市の広報誌も同様にとじ込み。 金額が変わるわけではない。
後藤誠司委員	一般質問の原稿執筆は。
小野寺座長	広報広聴会議のメンバーが原稿を作成する。
後藤誠司委員	メンバーに会派のものがいない場合も、他の会派の原稿作成するのか。
小野寺座長	いない場合もあり、メンバーで作成をする。
小島雄一副委員長	目から鱗である。各議員の発想の転換はどうしたか。
上山副座長	試行錯誤である。
渡部勇一議員	リニューアルの効果があれば教えて欲しい。
上山副座長	以前に比べて、市民へ出向いて（取材）の機会が増えている。市民との距離感は明らかに近くなっている。議会改革についても議員個人の活動や理解力など、資質があがってきていると感じている。

※午前 11 時 20 分終了、議場見学。